

第3回久慈地区新設高等学校統合検討会議

I 日時 令和5年12月25日(月) 14:00-

II 会場 岩手県立久慈東高等学校 視聴覚室

III 次第

1 開会

2 久慈地区新設高等学校統合検討会議座長挨拶

3 報告

(1) 久慈地区新設高等学校校名(案)について

(2) 統合課題検討チーム会議及び教育内容検討チーム会議について

4 協議

協議事項1 校訓案について

協議事項2 学校教育目標案について

協議事項3 スクール・ポリシー案について

協議事項4 校歌案について

協議事項5 校舎名案について

協議事項6 制服案の選定について

協議事項7 部活動案について

協議事項8 その他

5 その他

第4回久慈地区新設高等学校統合検討会議の日程及び内容について

6 閉会

久慈地区新設高等学校統合検討会議構成員名簿

番号	氏名	役職
1	後 忠 美	久慈市教育委員会教育長
2	菊 地 理	野田村教育委員会教育長
3	山 王 敏 彦	久慈商工会議所会頭
4	小野寺 健 二	野田村商工会会長
5	小 橋 敏	久慈市立久慈中学校校長
6	菊 池 勉	野田村立野田中学校校長
7	野 場 貴 行	久慈市 PTA 連合会会長
8	三 上 達 也	野田村 PTA 連合会会長
9	澤 口 佳 介	岩手県立久慈東高等学校同窓会長
10	川 原 幸 夫	岩手県立久慈工業高等学校同窓会長
11	久 保 繁 明	岩手県立久慈東高等学校 PTA 会長
12	蒲 野 隆	岩手県立久慈工業高等学校 PTA 会長
13	佐々木 寛	岩手県立久慈東高等学校校長
14	水 野 扶佐史	岩手県立久慈工業高等学校校長

3 報告

(1) 久慈地区新設高等学校校名(案)について

〈第2回統合検討会議の検討結果の岩手県教育委員会への報告〉

久慈地区新設高等学校校名案について

久慈地区新設高等学校は、専門分野に関する特色ある学科等の機能を有する高等学校として、久慈地域において専門教育の拠点となり、地域産業等を支える人材の育成が期待されており、地域からの期待に応える学校を目指し以下の4案を選定した。

なお、4案の中での順位は付されていないものである。

校名(案)	理由
岩手県立 くじこうかそうごう 久慈工科総合 高等学校	両校の設置学科である工業学科と総合学科の名称から、地域と共に未来を切り開く最先端技術と人間性を育てる学校になることを願って、両校の学びがわかる「工科」と「総合」をつけた。「総合工科」の場合は、工業の学科を複数持つ工業高校と捉えることができると考え、「工科総合」とした。
岩手県立 くじしょうほく 久慈翔北 高等学校	「翔」は、明るい未来に向かって飛翔するという願いを込め、「北」は、学校が沿岸北部の中心となって発展してほしいという期待を込めた。地域社会での活躍・貢献を願い「沿岸北部の地、久慈市から翔る」との思いを込めた。
岩手県立 くじほくよう 久慈北耀 高等学校	「耀」は、久慈市の琥珀と野田村のマリンローズの様に、地域の宝としていつまでも耀いてほしいという願いを込め、「北」は、学校が沿岸北部の中心となって発展してほしいという期待を込めた。
岩手県立 くじかいせい 久慈魁星 高等学校	「魁」は、北斗七星の柄杓の部分の輝く第1から4星を、久慈東高校新設時の統合の様子を踏まえ、農林、商業、水産、工業の4つの統合校と見立てた。中国では柄杓の器の部分を作る、天枢、天璇、天璣、天権の4つを魁(かい)と一字でよぶ。「星」は、地域に明るい光を照らし続ける、未来を担う人材育成を目指す高校となる願いを込めた。

[参考] 統合検討会議における意見について

- ・ 市村を越えた統合であるが両校とも「久慈」の文字が入っていることや、両校舎の所在地を行政で「久慈広域」と表していることから、「久慈」の地域名を付けた校名がよいのではないか。
- ・ 校名に「久慈」の地域名を付けることで、所在地が分かりやすくなることや、生徒が久慈地域の高校に誇りをもって学ぶことができるのではないか。
- ・ 「久慈」の地域名に「翔北」、「北耀」、「魁星」のような明るいイメージの名称を付けることで、久慈地域における地域社会・地域産業を担う人材を育成する新しい学校の校名としてふさわしいのではないか。
- ・ 校名に工業学科を表す「工科」や、総合学科を表す「総合」を入れることで、学ぶ内容が中学生等にわかりやすいのではないか。

(2) 統合課題検討チーム会議及び教育内容検討チーム会議について

[統合課題検討チーム会議]

ア 第2回統合課題検討チーム会議

- (ア) 開催日時 令和5年9月11日(月) 15時00～16時10分
- (イ) 開催場所 岩手県立久慈東高等学校 会議室
- (ウ) 出席者 10名
- (エ) 主な内容

- 協議事項1 校訓案について
- 協議事項2 学校教育目標案について
- 協議事項3 制服アンケートについて

イ 第3回統合課題検討チーム会議

- (ア) 開催日時 令和5年10月2日(月) 15時00分～16時10分
- (イ) 開催場所 岩手県立久慈東高等学校 会議室
- (ウ) 出席者 10名
- (エ) 主な内容

- 協議事項1 校歌作成の依頼先案について
- 協議事項2 スクール・ポリシー案について
- 協議事項3 校舎名案について

ウ 第4回統合課題検討チーム会議

- (ア) 開催日時 令和5年10月18日(水) 15時00分～16時10分
- (イ) 開催場所 岩手県立久慈東高等学校 会議室
- (ウ) 出席者 10名
- (エ) 主な内容

- 協議事項1 スクール・ポリシー案について

エ 第5回統合課題検討チーム会議

- (ア) 開催日時 令和5年12月4日(月) 15時40分～16時30分
- (イ) 開催場所 岩手県立久慈東高等学校 会議室
- (ウ) 出席者 10名
- (エ) 主な内容

- 協議事項1 制服について
- 協議事項2 スクール・ポリシー概要図案について

[教育内容検討チーム会議]

ア 第2回教育内容検討チーム会議

- (ア) 開催日時 令和5年10月2日(木) 16時10分～16時50分
- (イ) 開催場所 岩手県立久慈東高等学校 会議室
- (ウ) 出席者 21名
- (エ) 主な内容

- 協議事項1 設置する部案について
- 協議事項2 各部の活動場所案について

イ 第3回教育内容検討チーム会議

- (ア) 開催日時 令和5年12月4日(月) 15時00分～15時30分
- (イ) 開催場所 岩手県立久慈東高等学校 会議室
- (ウ) 出席者 21名
- (エ) 主な内容

- 協議事項1 設置する部案について
- 協議事項2 各部の活動場所案について

4 協議

協議事項 1

校訓案について

協調 創造 進取 とする。

1 理由

協調（きょうちょう）

工業科と総合学科の学びを深める生徒たちが協調し、互いに助け合うことを通して、急速な社会の変化に対応しながら、自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、周囲と協調しながら生きる力をもった人間を育てる。

久慈工業高等学校に「協調」という校訓がある。

創造（そうぞう）

変化の激しい予測困難な時代にあって、柔軟に対応することができる資質・能力を身に付け、未来を創造し、地域社会に貢献できる人間を育てる。

両校の教育目標には「創造」の文字が入っている。

進取（しんしゅ）

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」の涵養が求められていることを踏まえ、自分から進んで物事に取り組もうとする力をもった人間を育てる。

久慈東高等学校に「進取」という校訓がある。久慈工業高等学校では近い意味として捉えると「積極」という校訓がある。

2 参考

両校の校訓

久慈東 高等学校	礼節	進取	剛健		
久慈工業 高等学校	敬愛礼節	協調団結	技術錬磨	積極実践	至誠責任

学校教育目標案について

心身ともに健やかで調和がとれ、自他を敬愛する人間を育成する。

広い視野で未来を創造し、社会に柔軟に対応する人間を育成する。

自ら学びに向かい、地域の発展に寄与する人間を育成する。

1 理由

両校の教育目標を継承するとともに、新しい学習指導要領を踏まえ、時代の流れを汲み、新しい新設校に相応しい学校教育目標とした。

2 参考

両校の学校教育目標

(1) 久慈東高等学校

- ・ 個性を伸ばし、創造的な人間を育成する。
- ・ 心身ともに調和がとれ、自己実現を目指す人間を育成する。
- ・ 地域の伝統・文化を尊重し、地域の発展に寄与する人間を育成する。

(2) 久慈工業高等学校

- ・ 能力、適性を伸張し、主体的に行動する人間の育成
- ・ 技術、技能を尊重し、勤労を貴ぶ人間の育成
- ・ 豊かな教養を育み、創造力豊かな人間の育成
- ・ 心身ともに健康で、自他を敬愛する人間の育成

岩手県立久慈地区新設高等学校三つの方針（スクール・ポリシー）

1 学校教育目標

- 1 心身ともに健やかで調和がとれ、自他を敬愛する人間を育成する。
- 2 広い視野で未来を創造し、社会に柔軟に対応する人間を育成する。
- 3 自ら学びに向かい、地域の発展に寄与する人間を育成する。

2 三つの方針（スクール・ポリシー）

	スクール・ポリシー
グラデュエーション・ポリシー	<p>★このような力を育成します★</p> <p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に判断して行動し、目標に向けて努力し続ける力を育成します。 ・自らの課題を見出し、他者と協働して物事に取り組み、解決する力を育成します。 ・コミュニケーションや情報モラル、プレゼンテーションなど、社会人としての基盤能力を育成します。 ・他者や多様性を尊重するとともに、SDGsや国内外の異なる文化への理解を深められる力を育成します。 ・郷土に愛着と誇りを持って、地域を正しく理解し、地域の課題に目を向け、主体的に地域の発展に貢献できる力を育成します。 <p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業の各分野の専門的な知識と技術・技能を身に付け、地域産業の中核を担うための力を育成します。 ・ものづくりを通して他者と協働しながら課題を解決し、新しい付加価値を創造する力を育成します。 <p>【総合学科】</p> <p>○人文科学系列・自然科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路希望に対応するとともに、大学等へ進学する生徒に必要な確かな学力を育成します。 <p>○環境緑化系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業における知識と技術を身に付け、地域や社会の課題を解決する力を育成します。 <p>○情報ビジネス系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス活動における「分析力」・「計算力」・「コミュニケーション力」等を身に付け、地域貢献の姿勢をもった経済社会の発展に寄与する力を育成します。

	<p>○海洋科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋、水産の知識と技術の学びを通して、水産業の担い手としての態度及び課題を解決する力を育成します。 <p>○食物系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理師に求められる職業人として必要な豊かな人間性と、食生活の充実向上を目指し、調理師に求められる社会的使命を果たす力を育成します。 <p>○介護福祉系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な授業や現場実習を通して、体系的・系統的に理解し技術を身に付け、課題を発見し解決する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	<p>★このような学び・教育活動を行います★</p> <p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けることを目指し、主体的・対話的で深い学びにより、基礎学力の定着に取り組みます。 ・各系列や学科において、地域と協働した実践的な学びを行います。 ・系列や学科の特徴を踏まえた専門的な学びと多様な選択科目により、それぞれの将来の進路に合わせた学びを行います。 ・地域の産業振興に取り組む機関・団体等との連携による学習を通して、伝統産業や地域産業を理解する取組を行います。 ・地域の自治体や大学等との連携による学習を通して、共通科目の学習の深化を図る取組を行います。 ・インターンシップや企業見学、各系列及び学科の課題研究の成果発表等のキャリア教育を通じて、キャリア発達を促す取組を行います。 <p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業科の専門科目の学習により身に付けた知識・技術を活用して、地域課題の解決を図る学習の取組を行います。 ・実践的・体験的な学習活動や職業資格の取得、競技会への出場を通じて、学ぶ意欲を高める取組を行います。 <p>【総合学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「産業社会と人間」において、自己理解と自己の進路について考える学習を行います。 ・「総合的な探究の時間」の活動を通して、様々な課題と向き合い、地域理解や地域貢献等体験的な学びを行います。 <p>○人文科学系列・自然科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実践し、大学等へ進学するために必要な確かな学力

	<p>を身につけさせる指導の充実を行います。</p> <p>○環境緑化系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農林業や関連機関との連携・交流を通じた実践的な活動を取り入れ、学びの充実を図ります。 <p>○情報ビジネス系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と連携を図りながら、「販売実習」をはじめとした体験的・実践的な学びと、ICTを有効に活用し、主体的・対話的で深い学びを推進します。 <p>○海洋科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した体験的な学びを通して、地元水産業について理解しながら、生徒の興味・関心や課題発見に基づく学習を深めます。 <p>○食物系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づいた実験実習を通して、基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、安全な食を提供するための学習に取り組みます。 ・外部機関と連携した実践的な学習により、職業観を深め、食文化の継承を図ります。 <p>○介護福祉系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する基本的な技術を体験的に学習します。 ・実務者研修を履修し、将来の国家資格取得に向けて取り組みます。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">アドミッション・ポリシー</p>	<p>★このような生徒を求めます★</p> <p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業や部活動に「がんばろう！」と意欲をもつ生徒 ・自分の進路を真剣に考え、進路実現に向け努力を継続できる生徒 ・他者を思いやる優しさを持った生徒 ・ルールを守り、落ち着いた学校生活を送ることができる生徒 ・地域のことに関わる意欲をもつ生徒 ・仲間とともに協力して、地域課題の解決に積極的に取り組む生徒 <p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業の内容に興味・関心があり、地域や社会の発展に貢献したい生徒を求めます。 ・将来の夢の実現に向けて、ものづくりについて意欲的に学びたい生徒を求めます。 <p>【総合学科】</p> <p>○人文科学系列・自然科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等への進学に対し強い意志をもち、地域に貢献する意欲をもった生徒を求めます。 <p>○環境緑化系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農業や林業に関心があり、体験的・実践的な学習活動に意欲のある生徒を求めます。

<p>○情報ビジネス系列</p> <p>・「商業」に関する科目に興味・関心をもち、意欲的に課題等に取り組むことができる生徒を求めます。</p> <p>○海洋科学系列</p> <p>・海や自然を愛し、積極的に海洋水産を学ぶ意欲がある生徒を求めます。</p> <p>○食物系列</p> <p>・「食」について広い視野と科学的視点で捉え、学習活動に意欲的に取り組む生徒を求めます。</p> <p>○介護福祉系列</p> <p>・介護・福祉などの分野への就職や進学を目指す生徒を求めます。</p>
--

3 連携先（魅力化協働パートナーの分類に○を付ける。複数可。）

	魅力化協働パートナー（団体名・個人名）	地域 *1	大学 *2	産業 *3	その他	学校運営 協議会委員 *4
1	久慈農業改良普及センター	○				
2	鶏王国北いわて推進協議会	○		○		
3	久慈地方「木の仕事」協議会	○				
4	久慈ロータリークラブ	○				
5	久慈市子育て支援センター	○				
6	久慈市ボランティア協議会	○				
7	久慈市漁業協同組合	○				
8	県北広域振興局	○				
9	地下水族館もぐらんぴあ			○		
10	株式会社越戸商店			○		
11	東京大学生産技術研究所		○			
12	東京海洋大学学術研究院		○			
13	岩手県立大学社会福祉学部 准教授 柏葉英美		○			
14	久慈市社会福祉協議会	○				
15	久慈市総合政策部地域づくり振興課	○				
16	野田村未来づくり推進課	○				
17	野田村教育委員会	○				
18	県北ものづくり産業ネットワーク	○				
19	岩手県建設業協会久慈支部	○		○		

*1 地域の行政機関、事業者、地域活性化に取り組む機関・団体及び個人

*2 大学等、国の機関又は国際機関、国際的な活動に取り組む機関・団体及び個人

*3 企業、産業技術研究機関、産業振興に取り組む機関・団体及び個人

*4 学校運営協議会委員に委嘱されている場合に○をつける。

4 特色ある教育課程（探究）

<p>具体的な 内 容</p>	<p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座「地域未来学」 ・ 課題研究発表会 ・ 地域産業講座 ・ 技能検定実技講習会 ・ 出前授業実習（プログラミング教室） ・ 3D-CAD講習会 ・ 工場見学会事業 ・ 2級土木施工管理技術講習 ・ 2級建築施工管理技術講習 ・ ドローン実習講習会 ・ 測量士、測量士補講習会 ・ 建設工事現場見学会 ・ 久慈琥珀採掘体験 ・ のだ塩づくり体験 <p>【総合学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食の匠による郷土料理伝承会 ・ 県北チキン産業に関する出前講座 ・ 西洋料理実技講習会 ・ テーブルマナー講習会 ・ すし技術講習会 ・ 和菓子講習会 ・ フラワーアレンジメント教室 ・ 林業体験講座 ・ ものづくりマイスター事業 ・ 介護施設等の現場実習 ・ 販売実習 ・ ギンザケ、ギンポ複合養殖実験 ・ ギンポ飼育実験 ・ 水産食品製造現場実習 ・ 明日の浜人養成塾事業 ・ 学習成果発表会
---------------------	--

【岩手県立久慈地区新設高等学校・魅力化ビジョン】

【校訓】 協調 創造 進取

【学校教育目標】

- 1 心身ともに健やかで調和がとれ、自他を敬愛する人間を育成する。
- 2 広い視野で未来を創造し、社会に柔軟に対応する人間を育成する。
- 3 自ら学びに向かい、地域の発展に寄与する人間を育成する。

特色ある教育課程
(探究)

魅力化協働パートナー
関係企業・関係機関等との連携

○連携先
久慈農業改良普及センター、鶏王国北いわて推進協議会、久慈地方「木の仕事」協議会
久慈ロータリークラブ、久慈市子育て支援センター、久慈市ボランティア協議会
久慈市漁業協同組合、東北広域振興局、地下水族館もぐらんぴあ、株式会社越戸商店
東京大学生産技術研究所、東京海洋大学学術研究院、
岩手県立大学社会福祉学部准教授、久慈市社会福祉協議会、久慈市総合政策部地域づくり振興課、
野田村未来づくり推進課、野田村教育委員会、東北ものづくり産業ネットワーク、岩手県建設業協会久慈支部

○具体的な内容

【工業科】
・講座「地域未来学」 ・課題研究発表会 ・地域産業講座 ・技能検定実技講習会 ・出前授業実習 (プログラミング教室)
・3D-CAD講習会 ・工場見学事業 ・2級土木施工管理技術講習 ・2級建築施工管理技術講習
・ドローン実習講習会 ・測量士補講習会 ・測量士、測量士補講習会 ・建設工事現場見学会 ・久慈琥珀採掘体験 ・のだ塩づくり体験
【総合学科】
・食の匠による郷土料理伝承会 ・県北子キン産業に関する出前講座 ・西洋料理実技講習会 ・テールマナー講習会
・すし技術講習会 ・和菓子講習会 ・フラワーアレンジメント教室 ・林業体験講座 ・ものづくりマイスター事業
・介護施設等の現場実習 ・販売実習 ・ギンザケ、ギンボ複合養殖実験 ・ギンボ飼育実験 ・水産食品製造現場実習
・明日の浜人養成事業 ・学習成果発表会

岩手県立久慈地区新設高等学校・魅力化ビジョン

【アドミッシン・ポリシー】

学校全体

- ・学業や部活動に「がんばろう！」と意欲をもつ生徒
- ・自分の進路を真剣に考え、進路実現に向け努力を継続できる生徒
- ・他者を思いやる優しさを持った生徒
- ・ルールを守り、落ち着いた学校生活を送ることができる生徒
- ・地域のことに関わる意欲をもつ生徒
- ・仲間とともに協力して、地域課題の解決に積極的に取り組む生徒

工業科

機械コース、建設コース
機械コース、建設コース
・工業科の内容に興味・関心があり、地域や社会の発展に貢献したい生徒を求めます。
・将来の夢の実現に向けて、ものづくりについて意欲的に学びたい生徒を求めます。

総合学科

人文科学系列、自然科学系列
人文科学系列、自然科学系列
大学等への進学に対し強い意志をもち、地域に貢献する意欲をもった生徒を求めます。

環境緑化系列

地域の農業や林業に関心があり、体験的・実践的な学習活動に意欲のある生徒を求めます。

情報ビジネス系列

「商業」に関する科目に興味・関心をもち、意欲的に課題等に取り組むことができる生徒を求めます。

海洋科学系列

海洋や自然を愛し、積極的に海洋水産を学ぶ意欲がある生徒を求めます。

食物系列

「食」について広い視野と科学的視点で捉え、学習活動に意欲的に取り組む生徒を求めます。

介護福祉系列

介護・福祉などの分野への就職や進学を目指す生徒を求めます。

【カリキュラム・ポリシー】

学校全体

- ・確かな学力を身に付けることを目指し、主体的・対話的で深い学びにより、基礎学力の定着に取り組めます。
- ・各系列や学科において、地域と協働した実践的な学びを行います。
- ・系列や学科の特徴を踏まえた専門的な学びと多様な選択科目により、それぞれの将来の進路に合わせた学びを行います。
- ・地域の産業振興に取り組む機関・団体等との連携による学習を通して、伝統産業や地域産業を理解する取組を行います。
- ・地域の自治体や大学等との連携による学習を通して、共通科目の学習の深化を図る取組を行います。
- ・インターンシップや企業見学、各系列及び学科の課題研究の成果発表等のキャリア教育を通じて、キャリア発達を促す取組を行います。

工業科

機械コース、建設コース
機械コース、建設コース
・工業科の専門科目の学習により身に付けた知識・技術を活用して、地域課題の解決を図る学習の取組を行います。
・実践的・体験的な学習活動や職業資格の取得、競技会への出場を通じて、学ぶ意欲を高める取組を行います。

総合学科

人文科学系列、自然科学系列
人文科学系列、自然科学系列
主体的・対話的で深い学びを実践し、大学等へ進学するために必要な確かな学力を身に付けさせる指導の充実を行います。

環境緑化系列

地域の農業や関連機関との連携・交流を通じた実践的な活動を取り入れ、学びの充実を図ります。

情報ビジネス系列

地域社会と連携を図りながら、「販売実習」をはじめとした体験的・実践的な学びと、ICTを有効に活用し、主体的・対話的で深い学びを推進します。

海洋科学系列

地域と協働した体験的な学びを通して、地元水産業について理解しながら、生徒の興味・関心や課題発見に基づく学習を深めます。

食物系列

- ・理論に基づいた実験実習を通して、基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、安全な食を提供するための学習に取り組めます。
- ・外部機関と連携した実践的な学習により、職業観を深め、食文化の継承を図ります。

介護福祉系列

- ・介護に関する基本的な技術を体験的に学習します。
- ・実務者研修を履修し、将来の国家資格取得に向けて取り組めます。

【グラデュエーション・ポリシー】

学校全体

- ・主体的に判断して行動し、目標に向けて努力し続ける力を育成します。
- ・自らの課題を見出し、他者と協働して物事に取り組み、解決する力を育成します。
- ・コミュニケーションや情報モラル、プレゼンテーションなど、社会人としての基礎能力を育成します。
- ・他者や多様性を尊重するとともに、SDGsや国内外の異なる文化への理解を深められる力を育成します。
- ・郷土に愛着と誇りを持って、地域を正しく理解し、地域の課題に目を向け、主体的に地域の発展に貢献できる力を育成します。

工業科

機械コース、建設コース
機械コース、建設コース
・工業の各分野の専門的な知識と技術・技能を身に付け、地域産業の中核を担うための力を育成します。
・ものづくりを通して他者と協働しながら課題を解決し、新しい付加価値を創造する力を育成します。

総合学科

人文科学系列、自然科学系列
人文科学系列、自然科学系列
多様な進路希望に対応するとともに、大学等へ進学する生徒に必要な確かな学力を育成します。

環境緑化系列

農林業における知識と技術を身に付け、地域や社会の課題を解決する力を育成します。

情報ビジネス系列

ビジネス活動における「分析力」・「計算力」・「コミュニケーション力」等を身に付け、地域貢献の姿勢をもった経済社会の発展に寄与する力を育成します。

海洋科学系列

海洋、水産の知識と技術の学びを通して、水産業の担い手としての態度及び課題を解決する力を育成します。

食物系列

調理師に求められる職業人として必要な豊かな人間性と、食生活の充実向上を目指し、調理師に求められる社会的使命を果たす力を育成します。

介護福祉系列

専門的な授業や現場実習を通して、体系的・系統的に理解し技術を身に付け、課題を発見し解決する力を育成します。

協議事項 4

校歌案について

校舎が所在する久慈地域にゆかりがある方に依頼する。

1 理由

校舎が所在する久慈地域にゆかりがある方に、地域の魅力や思いを盛り込んだ校歌を作成していただき、生徒が学校に誇りをもって歌ってほしい。

2 今後のスケジュール

- ・ 令和6年1月 作成を依頼する。
- ・ 令和6年度中 完成予定。

校舎名案について

久慈東高等学校の校舎を「**門前校舎**」、久慈工業高等学校の校舎を「**野田校舎**」とする。

1 理由

両校の所在地の地名を校舎名とし、生徒が校舎のある地域に誇りをもって学んでほしい。

2 参考

北桜高等学校の例

一戸高等学校の校舎「総合校舎」、福岡工業高等学校の校舎「工業校舎」

宮古商工高等学校の例

旧宮古商業高等学校の校舎「商業校舎」、旧宮古工業高等学校の校舎「工業校舎」

制服案の選定について

上着は紺色を基本とし、ブレザー型の制服を作成する。

- 1 理由
生徒、職員、近隣の中学生へのアンケート調査で意見が多かった紺色、ブレザー型を選定する。
- 2 アンケート調査結果
別冊
- 3 今後のスケジュール
令和6年1月 複数の業者のプレゼンテーション
2月 在校生、職員へアンケート調査
第4回統合検討会議で進捗状況を報告
3月 制服業者の決定
4月 新制服決定

部活動案について

1 設置する部案について

両校に設置されている部で、現在活動している部を継承し、統合後も生徒が継続して部活動に取り組める環境を維持する。

令和7年度設置する部活動案

	部活動名（予定）	令和5年度設置部		部員数（R5）		
		久慈東	久慈工業	久慈東	久慈工業	合計
1	陸上競技	○		20		20
2	硬式野球	○	○	34	5	39
3	バスケットボール（男）	○	○	19	7	26
4	バスケットボール（女）	○		11		11
5	バレーボール（男）	○		16		16
6	バレーボール（女）	○		8		8
7	卓球（男）	○	○	11	8	19
8	卓球（女）	○		2		2
9	ソフトテニス（男）	○	○	19	8	27
10	ソフトテニス（女）	○	○	20	1	21
11	バドミントン（男）	○		33		33
12	バドミントン（女）	○		25		25
13	サッカー（男）	○		12		12
14	ソフトボール	○		11		11
15	柔道	○	○	12	3	15
16	剣道	○		5		5
17	弓道	○		21		21
18	ウエイトリフティング		○		12	12
19	書道	○		3		3
20	美術	○	○	15	6	21
21	吹奏楽	○	○	13	2	15
22	文芸	○		0		0
23	料理		○		10	10
24	囲碁将棋	○		1		1
25	写真	○		35		35
26	華道	○		14		14
27	コンピュータ	○		8		8
28	茶道	○		16		16
29	手芸	○		21		21
30	チアダンス	○		18		18
31	工学研究		○		8	8

※ 部員数は、令和5年度始め（3年生も含む）の数である。

※ ○印は現有の部を表す。

ただし、部によっては、本年度及び令和6年度の活動状況や部員数等により、令和7年度に部員募集を行わないこともある。

2 活動場所について

両校の環境設備を有効に活用する。
 所属校舎と異なる活動場所への移動について、部活動等移動用のバスを使用する。
 部活動等移動用バスの乗車定員と部員数等を考慮する。

令和7年度活動場所案

	活動場所・部員数 部名	活動場所（予定）		部員数（R5）			備考
		久慈東	久慈工業	久慈東	久慈工業	合計	
運動部	陸上競技	グラウンド		20		20	
	硬式野球		グラウンド	34	5	39	
	バスケットボール（男）		体育館	19	7	26	
	バスケットボール（女）	第一体育館		11		11	
	バレーボール（男）		体育館	16		16	
	バレーボール（女）	第二体育館		8		8	
	卓球（男）	第二体育館		11	8	19	
	卓球（女）			2		2	
	ソフトテニス（男）	テニスコート		19	8	27	
	ソフトテニス（女）			20	1	21	
	バドミントン（男）	第一体育館		33		33	
	バドミントン（女）			25		25	
	サッカー（男）	グラウンド		12		12	
	ソフトボール	専用グラウンド		11		11	
	柔道	柔剣道場		12	3	15	
	剣道	柔剣道場		5		5	
	弓道	市民弓道場		21		21	
ウェイトリフティング		皆宜館		12	12		
文化部	書道	書道室		3		3	
	美術	美術室	美術室	15	6	21	両校舎で活動
	吹奏楽	音楽室		13	2	15	
	文芸	図書室		0		0	
	料理		家庭科室		10	10	
	囲碁将棋	第3講義室		1		1	
	写真	視聴覚室		35		35	
	華道	家庭経営室		14		14	
	コンピュータ	情報演習室		8		8	
	茶道	家庭経営室		16		16	
	手芸	家庭経営室		21		21	
	チアダンス	多目的室		18		18	
工学研究		産振棟		8	8		
計				423	70	493	

※ 数字は部員数を表す。部員数は、令和5年度始め(3年生も含む)の数である。

協議事項 8

その他

統合検討会議等に関するスケジュールと検討内容について

回	開催時期	検 討 内 容
第 1 回	R 5. 6. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合検討会議構成員の紹介 ・ 座長、副座長選出（統合検討会議組織の確認） ・ 統合検討会議設置運営要綱の決定 ・ 統合までのスケジュール等の確認 ・ 校名案の決め方 ・ 校舎制の形態の決定（「独立校舎型」又は「実習移動型」）
第 2 回	R 5. 8. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名案の決定 ・ 校歌、校章、校訓、制服の決め方等について ・ 統合新設校における学びの在り方 ・ 学校教育目標及びスクール・ポリシー等の方向性 ・ 工業学科の教育内容の検討 ・ 総合学科の教育内容の検討 ・ 工業学科の学科名称(案)総合学科の系列の名称(案)の決定
第 3 回	R 5. 12. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校訓について ・ 学校教育目標について ・ スクール・ポリシーについて ・ 校舎名について ・ 校歌について ・ 制服選定について ・ 部活動について
第 4 回	R 6. 2. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗状況の報告（校歌、校章、制服選定） ・ これまでの経過報告 ・ 今後の統合準備の計画について